

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KICONA堺店 新築工事	階数	地上8F
建設地	大阪府堺市堺区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年3月8日
敷地面積	6,112 m ²	作成者	株式会社 汎設計
建築面積	5,179 m ²	確認日	2018年3月8日
延床面積	29,516 m ²	確認者	株式会社 汎設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外観の色彩については、基調色に彩度を抑えた色を使用し、アクセント色に活気のある色を使用することで、街並みに調和させ、地域性及びアメニティの向上に努めた。		(特記事項なし)
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
有害物質の少ない建材を使用し十分な換気に努め、室内空気汚染の低減に配慮した。	バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるよう配慮した。	(特記事項なし)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
空調や換気、照明等の設備機器については、エネルギー効率を高めるよう配慮した。	節水等を考慮し、水資源保護に努めた。	駐車・駐輪スペースに配慮し、交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)KICONA堺店 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区翁橋町一丁101番、115番	0.8	B-
	主用途/延床面積	集会所 / 29,516.47 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●	● ●	
省エネ対策	3	● ● ● ● ●	● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●	● ●	
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●	● ●	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.0	3
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				2.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				2.1
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	